

サマーデザインワークショップ7.2024

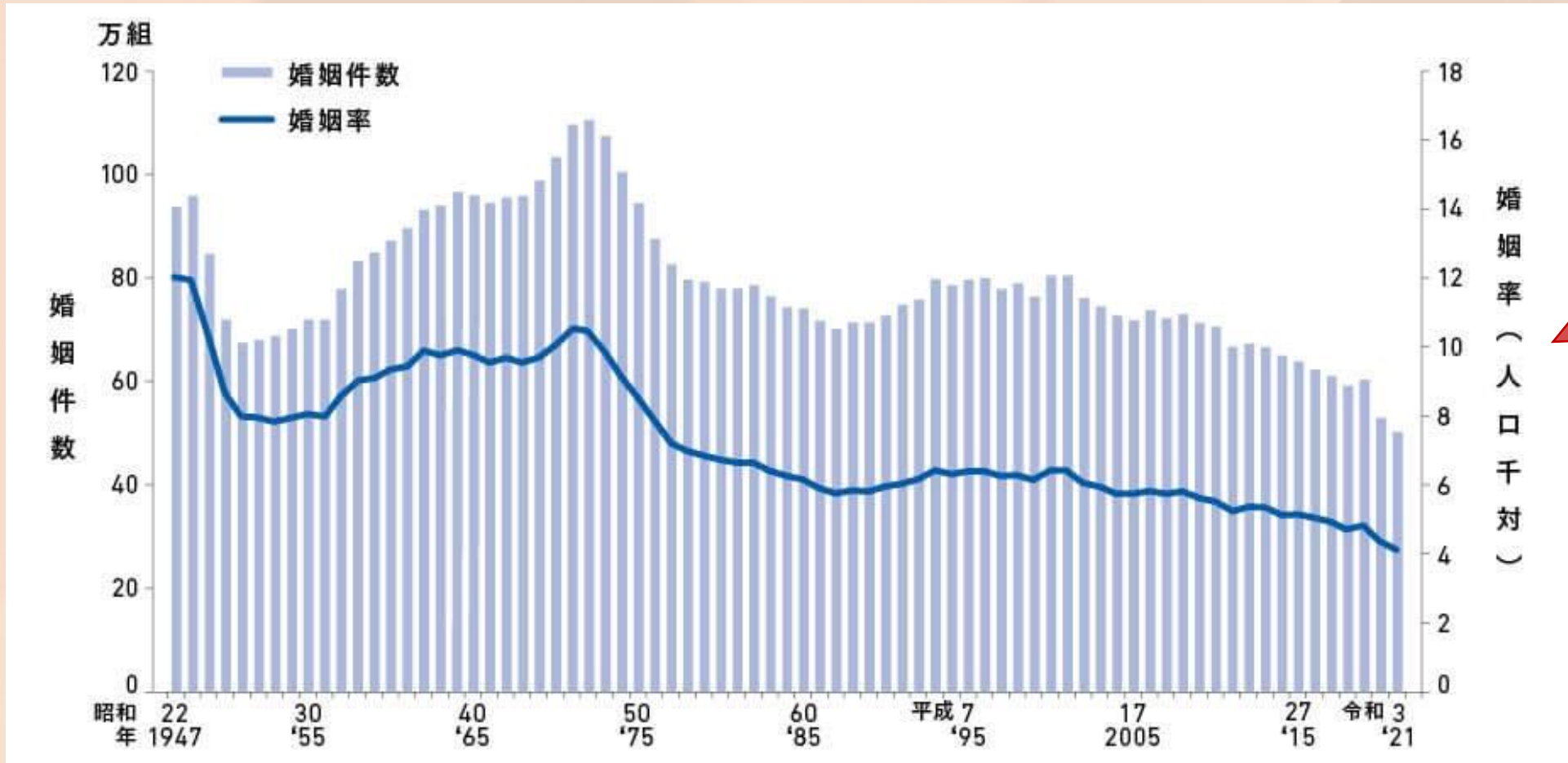
“逃げ恥” 的に自分らしくいられる
「新たな結婚契約のあり方」と
その「契約合意方法」を考える

～自分達らしい合意内容やプロセスによって社会問題が解決できる可能性を考える～

横浜市立大学 大学院データサイエンス研究科

加藤 茂博

加速度的な少子高齢化に影響を与える婚姻率が継続的に低下

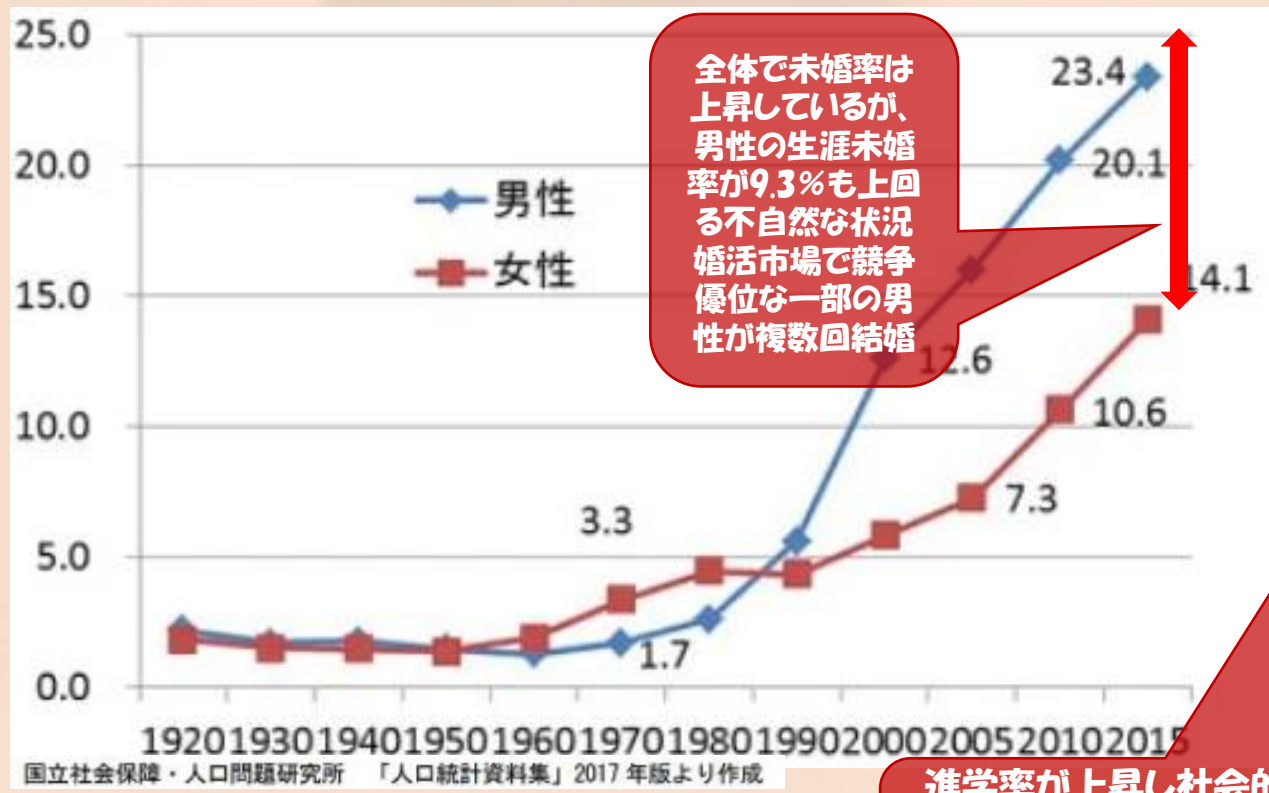


少子化は誰もが知る国家的な課題だが、その前提となる婚姻数、婚姻率が双方ともに減少

出典：厚生労働省「[令和3年\(2021\)人口動態統計月報年計\(概数\)の概況](#)」図9 婚姻件数及び婚姻率（人口千対）の年次推移

考察：出会の減少、条件のアンマッチなど対象相手の属性要因だけでなく今の婚姻制度に魅力がないなら、望ましい契約形態を作れば良いのでは？

市場アンマッチ：生涯未婚率（50歳時点で結婚歴なし）が急増 女性の社会進出で経済力が向上、一部男女が取り残される傾向



結婚相手に求める条件
(未婚女性)

- 1位 経済力 63.7%
- 2位 価値観 48.4%
- 3位 人柄 40.7%



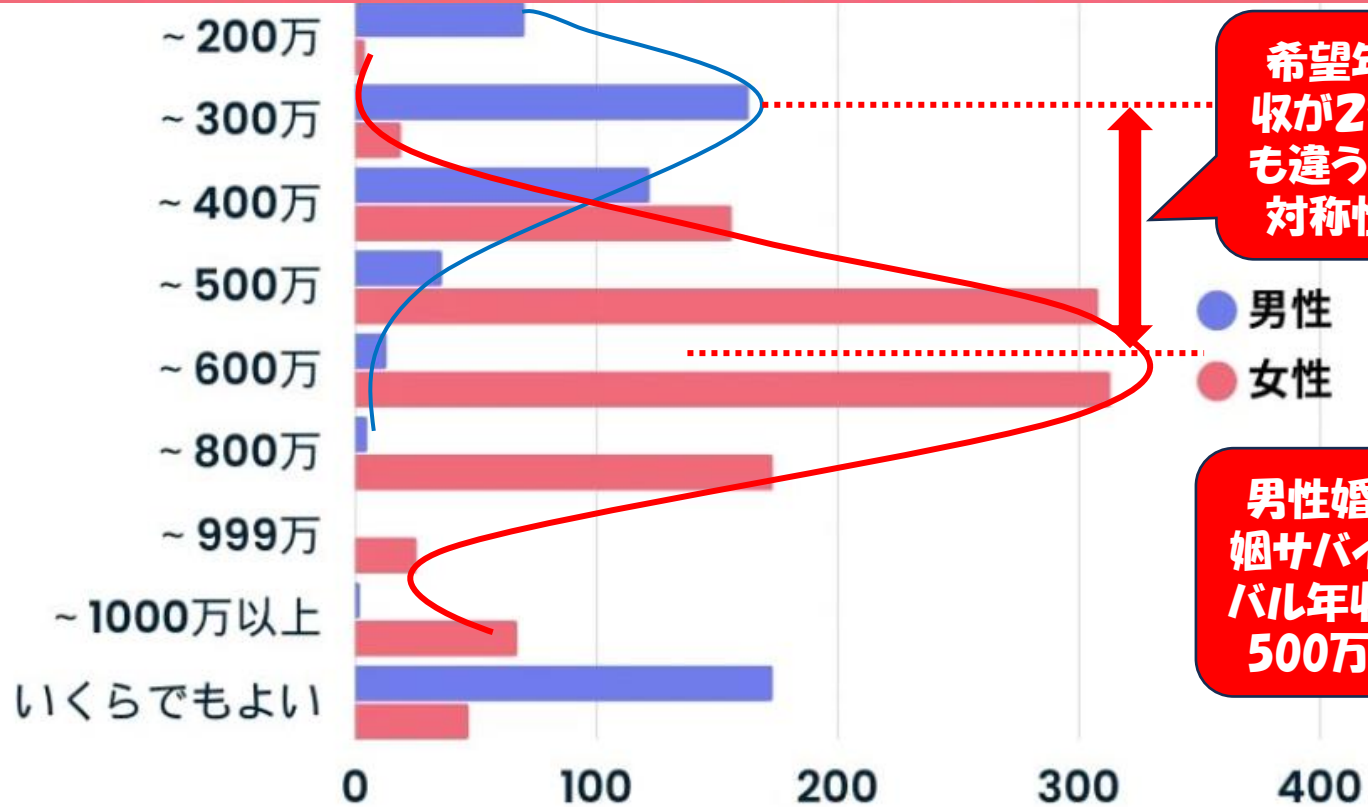
進学率が上昇し社会的地位も向上した女性が自分と釣り合う条件を求めただけで対象が狭まってしまう

日本リレーションシップ協会調べ

考察：自分と同等以上の経済力を基準とすると対象が限定されてしまう。経済力のある男性が女性の生き方の支援をしてくれるとは限らない。

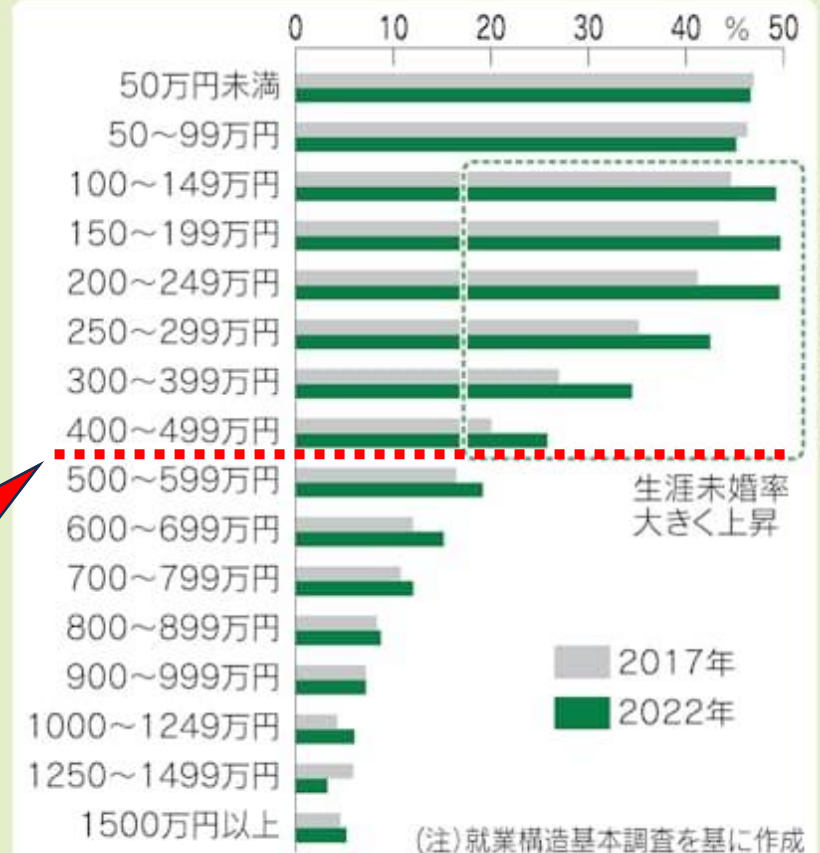
相手に望む年収：女性は高く男性は低い▶非対称性志向婚

お相手に希望する年収を教えてください。



2023年オミカレ婚活実態調査 (オミカレ会員1,752人に調査)

男性の所得階層別の生涯未婚率 (45~49歳、50~54歳の平均)



(注) 就業構造基本調査を基に作成

考察：男性はより少ない年収の女性を女性は高い年収を望む。高年収の男性は過当競争に晒され、500万円以下の男性は結婚市場で取り残される

理想の年齢差「同い年」の回答は男女共に10%未満。7歳以上の年齢差が理想は女性は8.0%と少数派、男性は41.3%と、男女で大きな違い

結婚相手の理想の年齢差は？

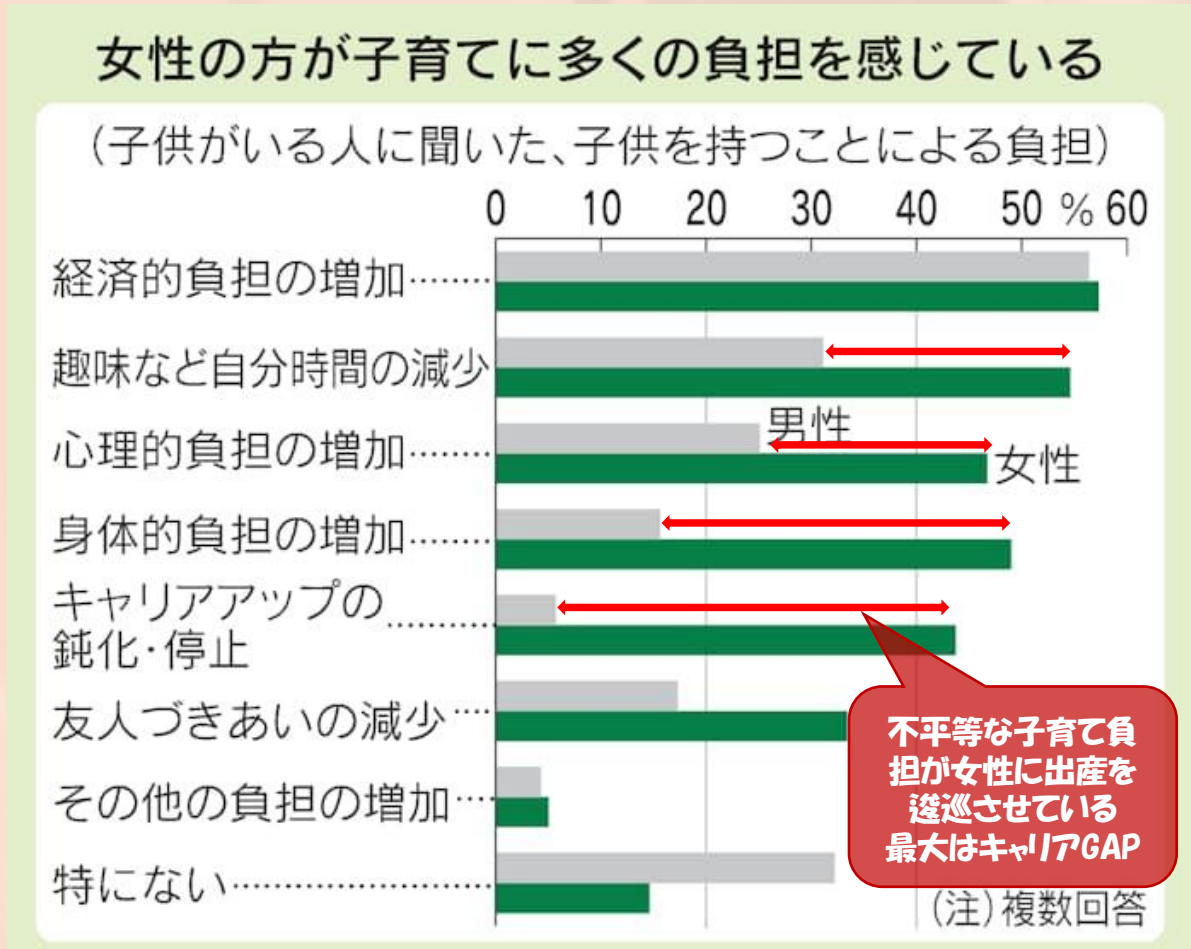
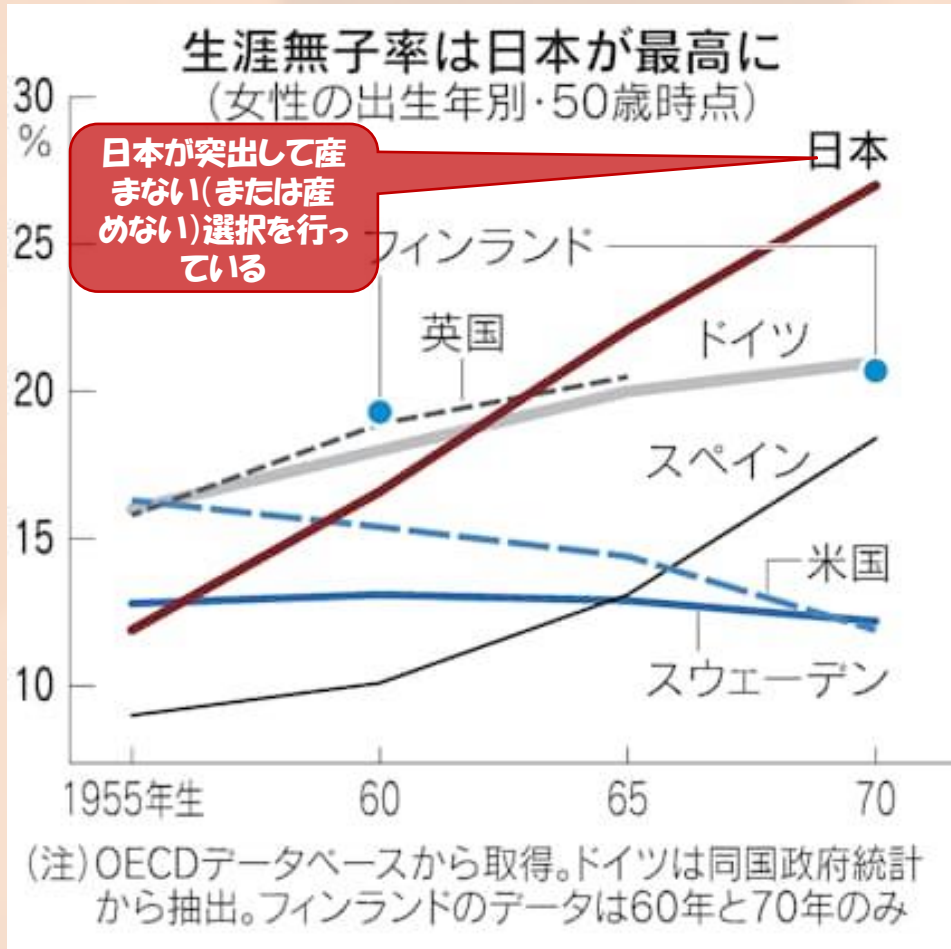


社会的地位も向上した女性がキャリア設計において、「キャリア的な一定の成功」と「結婚・出産」等ライフイベントのどちらを優先するか悩む中、キャリア構築を優先すると年齢的な希望の需給から外れやすくなる可能性がある

フライダルネット「年の差婚」に関するアンケート調査 2023年11月

考察：差の開かない年代を望む女性に対し男性は若い女性を望む傾向
若い女性は過当競争、キャリア構築を優先した女性を取り残されがち

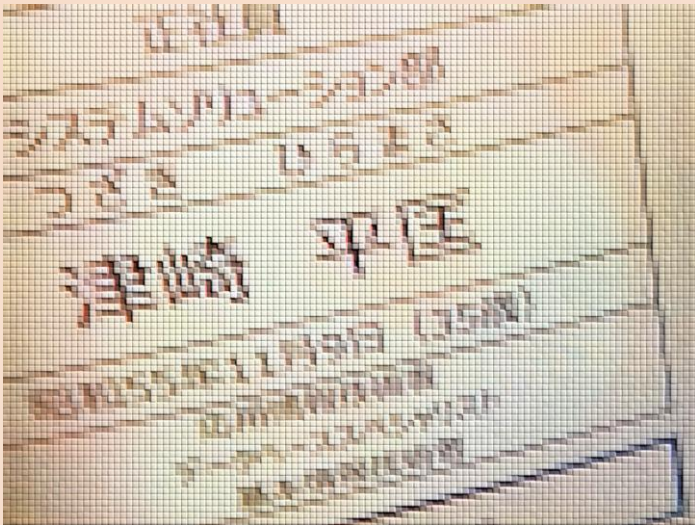
女性に一方的に重い不平等な子育て負担が生涯無子率を上昇



考察：出産・子育てを契機に女性の負担は過剰に増加。生涯無子率増加と結婚回避の原因となっている

結婚というこれまでの形式や契約形態が魅力的でないなら パートナと一緒に過ごす「新たな形式・契約」概念をどう創る？

事実婚



《総合的にみた雇用関係における共同生活のメリット》

これまでの生活	
家賃	150,000
光熱費	8,000
食費(外食)	80,000
家事代行	50,000
総出費	288,000

共同生活の場合	
家賃	150,000
光熱費	25,000
食費	30,000
家事代行業費	0
森山さんへの給料	194,000
総出費	399,000

非マネタリー経済活動の価値を正しく評価することは大切だが森山さんの給与は低いのでは？
 共同生活のメリットと視点移すことは意味がいそう

折半分のバック	
家賃	75,000
光熱費	12,500
食費	15,000
合計のバック	102,500

総出費 - バック分 296,500

各種手当によるバック

家族手当(妻の扶養) 18,000

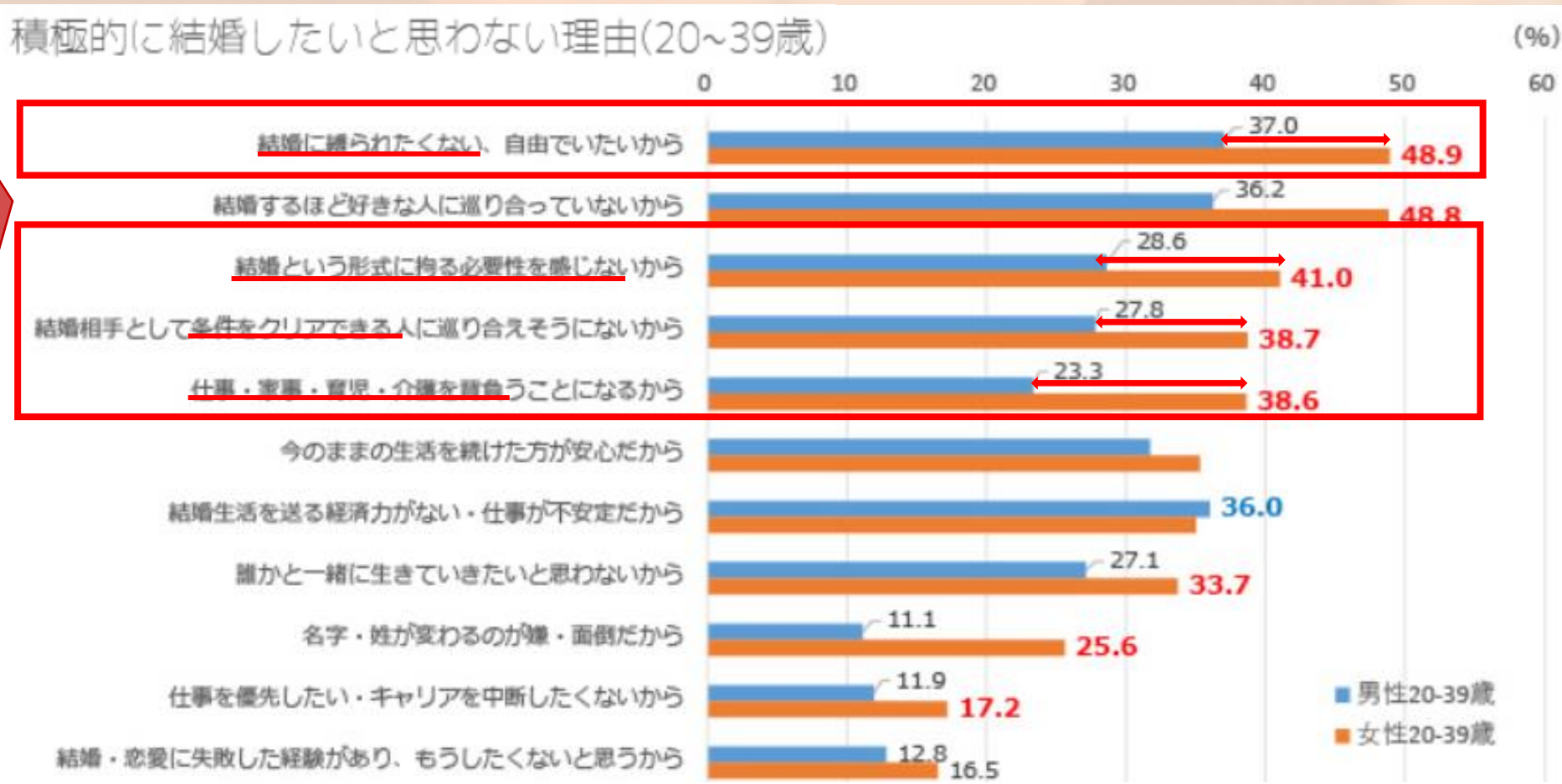
実質総出費 278,500

これまでの総出費 共同生活の場合の総出費
 298,000円 - 278,500円 = 19,500円
 ※つまり月々の出費が19,500円もお得になります

結婚 = 契約と考えることで、契約内容を双方の合意により自由に設定できるという当たり前の事実を再認識できる

考察：「逃げ恥」では契約や形式、非マネタリー経済価値を再検討した

積極的に結婚したいと思わない理由 = 現在の結婚という形式と条件



積極的に結婚したいと思わない理由(20~39歳) / 「男女共同参画白書 令和4年版」(内閣府)より

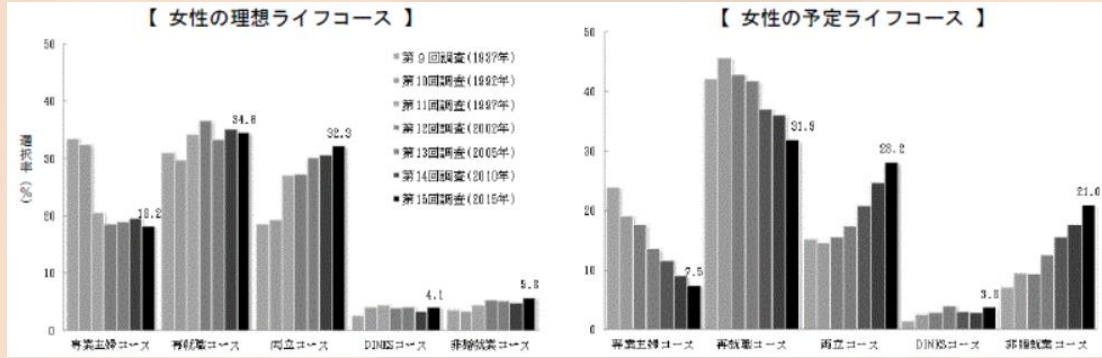
現状の「結婚」とは

- 1.人を縛るもの
- 2.魅力がない形式
- 3.パートナーへの条件が厳しくなるもの
- 4.負担が増えるもの

※特に女性が縛られる傾向

考察：男女別姓・LGBT婚など法整備を待たず、双方の合意で自分らしくパートナーと過ごせる新たな形式や契約を考えることがWORKSHOPテーマ

新たな形態：負担が公平で自分が縛られず、多様な相手を許容する「契約」 自分らしさが支援される契約や合意/キャリアとプライベートの両立を検討



Step1 結婚・出産を経て復帰や両立を望む女性希望と予定は少し異なる
キャリアコースペルソナ別・男女別のロールを設定しディスカッション

ステージ	認知	リサーチ	比較	会員登録	購入
顧客行動	Twitterを見る 友人から話を聞く	Googleで検索 Amazonの レビューを見る	比較サイトを チェック 体験ブログを読む	公式サイトに アクセス	購入手続き 完了
タッチ ポイント	Twitter 友人の口コミ	Google Amazon	比較サイト 体験ブログ	ECサイト	サンクスメール
感情変化	いいかも♪ 😊	本当にいいかな? 😞	これは欲しい! 😊	登録が面倒... 😞	届くの楽しみ! 😊

Step2：新たな自分らしい契約合意を成立させられる質問や相互理解を
両立させられる契約合意にを実現するジャーニーMAPを作成する

1. 事前に知人の結婚観を聞きロール選択
2. ペルソナロール型ディスカッション
3. 不公性・形式性・自分らしさ抽出
4. 未来の契約のあり方を検討
5. 何を質問・合意するか考える
6. 交際～結婚のジャーニーMAP
7. 契約合意に至るデザイン設計
8. 契約合意型のジャーニーMAP
9. 既存の交際プロセスとの比較
10. まとめ：各自の人生の意思決定法

考察：結婚や就職などライフイベントは試行錯誤ができず、経験して
見るまで分からない ≡ 失敗しやすい + 保守的な選択になりやすい

参考文献

- 将来の労働力不足が深刻な社会問題に!?日本人の婚姻状況と結婚観を探る
 - https://career-research.mynavi.jp/column/20230711_52662/
- 第一生命経済研究所 いまどきの「結婚の目的・意義」
 - <https://www.dlri.co.jp/report/ld/333637.html>
- 日経新聞 生涯子供なし、日本突出 50歳女性の27%
 - <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UD0818Q0Y2A201C2000000/>
日経新聞 子供の有無、所得が影響 「格差感じる」8割
- 国立社会保障・人口問題研究所 結婚と出産に関する全国調査 希望の結婚像 -どんな結婚を求めているのか-
 - https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou12_s/chapter3.html
- AMP News 結婚相手に求める年収、男性が「300～400万円」、女性は「500～600万円」結婚とお金に関する意識調査
 - <https://ampmedia.jp/2023/10/13/marriage-money-survey/>
- Yahoo News 8割の男性は「年の差婚」に前向き 女性の5割以上が「1～3歳差」が理想と回答 フライダルネット調べ
 - <https://news.yahoo.co.jp/articles/db9df7d95a3f2988d81afae6faa9a1bd38a94c3d>
- 東洋経済 正規で働く女性の「生涯未婚率」男女逆転の衝撃 女性は年収が上がるほど未婚率が高まる
 - <https://toyokeizai.net/articles/-/685895?page=2>

ライフイベントという人生で未経験の意思決定においては、双方のニーズの状況や、市場の需給意思決定後の双方の心の変化などを知らず、理想の実現を相手の選択に依存しがちな保守的な状況が発生しやすくなります。相互理解と双方の合意によってじぶんらしいあい方を実現しやすくないか新たな契約コンセプトや合意プロセスのジャーニーMAPの可能性を検討するWORKSHOPです。